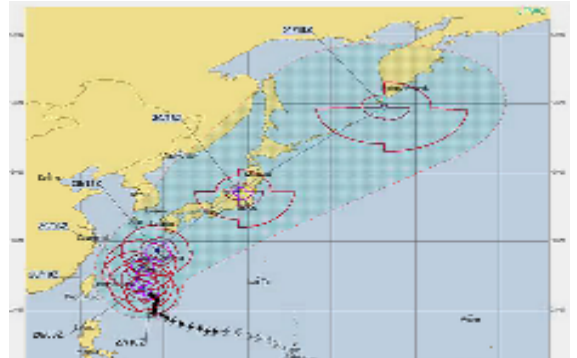


各種ニュース報道のとおり、大型で非常に強い台風 24 号が日本列島に向けて進路を取り、接近することが予想されています。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

1. 台風 24 号の進路予測・西日本地域における潮位予測について

気象庁によれば、台風 24 号は 9 時現在、宮古島の南東約 380km にあり、中心の気圧は 950hPa、中心付近の最大風速は 45 メートル、最大瞬間風速は 60m で、中心から半径 220 キロ以内では風速 25 メートル以上の暴風となっています。なお、進路については、一般的に精度が高いと言われている米軍による気象予報においても、9 月 30 日(日)には非常に強い勢力を維持したまま西日本にかなり接近し、夕刻～夜間にかけて上陸する可能性が高いと予想されています。



出典: Naval Oceanography portal

気象庁の潮位予測によれば、非常に強い勢力を維持したまま上陸が予測されている西日本地域の 9 月 30 日(日)時点における満潮は、神戸 142cm(21:42)、大阪 143cm(21:44)、関空島 145cm(21:25)と発表されており、先般の台風 21 号が神戸に上陸した 14 時頃の神戸港潮位が 124 cm だったことと比較しても、高潮被害にも留意が必要です。

2. 事前の対策について

自然の脅威に対する事前の対策には物理的な限界があるものの、被害の発生・拡大防止に向け、『自然災害に対する一般貨物倉庫対策』事例をご紹介します。すぐに対応できるものもございますので、必要に応じてご利用下さい。

1. 浸水対策(貨物の高所避難)

- (1) 「ネステナー」「パレットサポート」などを活用して貨物を可能な限り嵩上げしておく
- (2) 高層ラックにおいては、高い棚に可能な限り貨物をはい替えする
- (3) 倉庫 2F・メザニンなどに貨物を移動(避難)する
- (4) 空きトラックの荷台に貨物を避難する
- (5) 近隣の安全な倉庫があれば計画的に重要貨物を移動(避難)しておく

2. 浸水対策(庫内浸水・停電対策)

- (1) 浸水リスクに応じた装置の設置(例: 止水版、止水シート、「タイガーダム」(※1)等)
- (2) エレベーターなども2階以上に移動させておく(動かないようにしておく)

3. 強風対策

- (1) 強風が予想される場合には窓・開口部の内側に養生

4. 平時のリスクマネジメント

- (1) 「ウエザーパトロール」(※2)による災害情報の早期入手

5. 被災後に備えるクライシス・マネジメント(危機管理)

- (1) 災害発生が確実なケースでは、早期復旧に向けて、「バックアップ体制の構築(代替指揮系統、近県からの応援要員派遣計画、リフト・トラックなどの補充計画など)」、「ベルフォア導入の準備」をする



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動火災保険株式会社

【ご参考】事前対策の補足、弊社の提供サービスについて

今回ご紹介したサービスのうち、平時からの備えが必要と思われる2つの対策について、少し詳しく補足させていただきます。

【タイガーダム】(標準価格: 1Unit30万円(税別)+α)

「タイガーダム」とは、水を注入されたチューブ水のうとして接続すること
であふれ出てきた水をせき止める大きなダムを形成する装置です。

長さは 15メートル×高さは 50cm から組み合わせて延長し、設置箇所に合わせて多様な形・サイズを設定することが可能です。仕様もいたってシンプルで 10分程度で組み立てる事が出来ます。

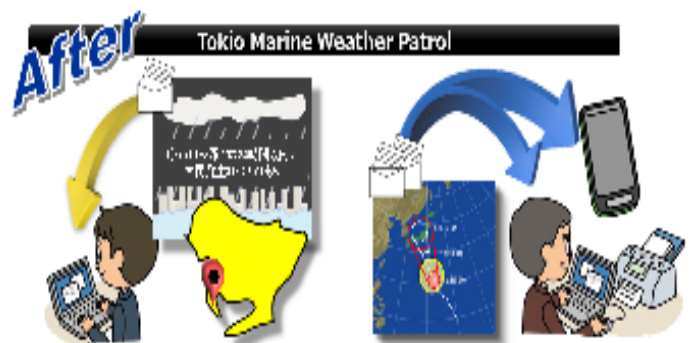


(出典:SRG Takamiya 社 HP)

【ウエザーパトロール『Tokio Marine Weather Patrol』】

弊社は、『Tokio Marine Weather Patrol』によってお客様へ気象情報を配信するサービスを提供しております。

これまで、情報提供元にアクセスしなければ得られなかったピンポイントの気象情報を東京海上日動・日本気象株式会社から登録されたメールアドレス(最大 10 先)へ 24時間・365日自動配信します。



本サービスは東京海上日動火災保険株式会社のピンポイントでの配信された気象情報も、東京海上日動火災保険株式会社から登録されたメールアドレス(最大10先)へ24時間・365日自動配信します。

ご提供できる情報は「①台風発生情報、②暴風域警戒情報、③注意報警報(強風・大雨・洪水・大雪・高潮)、④予

測情報(大雨・強風・高潮)、⑤観測情報(大雨・強風・落雷)、⑥地震情報(エリア選択・震度 3 以上・震度速報値)、⑦津波予報(気象庁発表情報)」の 7 つで、重大災害につながりやすい情報をピンポイントでご提供しております。

登録地点ごとに必要な気象情報をピンポイントかつリアルタイムにテキストメールで自動配信するため、ご担当者間で危機情報を速やかに共有し、情報に応じた対応策をタイムリーに実施することが可能です。費用などの詳細は弊社営業担当までお問合せ下さい。



(参照元)・

・Naval Oceanography portal <http://www.metoc.navy.mil/jtwc/jtwc.html>(最終閲覧日 2018 年 9 月 28 日)

・気象庁 <https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/suisan/index.php>((最終閲覧日 2018 年 9 月 28 日)

・SRG Takamiya <https://tigerdam.jp/about/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html